

■ 桂敏明

高校卒業後、薬剤師をめざし熊本から上京したが、思うところがあり大学を中退。その後新聞配達をしながら受験勉強を続けていた時に、「バイオリン職人募集」という新聞の3行広告に出会う。広告に導かれ、(株)文京楽器に入社。茶木泰風氏、Andrew Dipper氏、Hans Weisshaar氏、Margaret Shipman氏に弦楽器の修理・製作の技術を学ぶ。その間Amati(1665)・Strad(1668,1669,1721,1731・・・)・Gurarneri del Gesu(1732)他の多くの名器に触れる。1990年に独立し、西荻窪に(有)ベルク・バイオリン工房を開く。2003年現在の工房に移転。バイオリン職人歴38年。「究極!日本の職人」(テレビ東京1997年)に出演。今年2017年は3月「ぶらり途中下車の旅」(日本テレビ)、5月「小椋佳 闌(たけなわ)の季節」(文化放送ラジオ)に出演。

聞き手 ■ 奥村森 (おくむら しん)

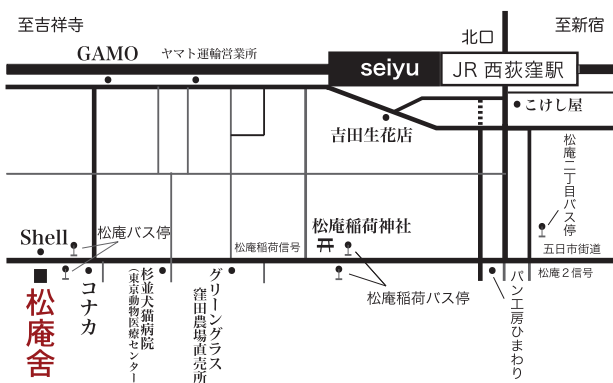
1945年日本画家奥村土牛、四男として生まれる。日大芸術学部写真学科卒業後、渡仏。嘱託報道カメラマンを経て75年より精密機械メーカーに勤務。87年オフィスオクムラを設立。新聞・雑誌などで執筆活動を開始。著作に「心の詩」「相続税が払えない」「旅の写真術」などがある。写真展「心の詩」ニエプス美術館(仏)、「70年代のフランス」デュノン美術館(仏)、「ブルゴーニュの人々」「喝采 葡萄牙」「Susie's Friends in L.A.」「Emotion そのりをり」「土牛疎開」「芸術家のいた風景」(東京)、「創々流転」、「ゴッホ憧憬」を開催。長年朝日カルチャーセンター新宿教室写真講師を務める。父やその縁で出会った芸術家の真実の姿を語る。

バイオリン演奏 ■ 中村勇太



尾道市出身。日本大学芸術学部卒業。三木登志江氏、井上淑子氏、吉田直矢氏他諸氏に師事。子どもへの教授法を白瀬ゆり氏に学ぶ。「生活の中の音楽」をテーマにシリングル草原(内モンゴル)、ロマ楽士の村クレジャニ(ルーマニア)、八重山民謡(石垣島)を取材。東京国際芸術協会、国際芸術連盟、尾道市の新人演奏会出演、JILAコンクール入選。サントリーホール・ブルーローズやすみだトリフォニー小ホール、HAKUJU HALLなどに出演。2012年J・COMチャンネル「粹人」ストーリーコンシェルジュ「ヴァイオリン」でフォーレの子守歌を演奏。2010年からロベルト・シューマン作品をメインにしたリサイタルを始め、これまでも遺作のソナタ第3番や協奏曲二短調など実演の少ない作品をプログラミング。日本茶ソムリエ和多田喜氏(表参道茶茶の間)とのコラボレーションでは音楽とお茶で様々なテーマに挑戦中。10年以上にわたり、児童館や幼稚園、子ども園での演奏活動を精力的に続けている。

- 入会金はありません、 ■ 事前のご予約をお願い致します。
- キャンセルは前日までとなります。当日のキャンセルは受講料を頂きます。
- 受講料は理由のいかんに関わらずご返金できません ■ 受講料以外に必要な実費はかかります。



JR 西荻窪駅南口を出て徒歩12分。南口改札を出て右、線路沿いを吉祥寺方向に歩きます。右手にGAMO Suttidoがあるところで左折してください。まっすぐ住宅街を抜けると五日市街道にぶつかります。信号を渡り斜め右、マンションの一階に松庵舎があります。

JR 西荻窪駅5番のりばより関東バス「立教女学院」行き
JR 吉祥寺駅北口6番のりばより関東バス「中野駅」行き
ともに「松庵」下車。